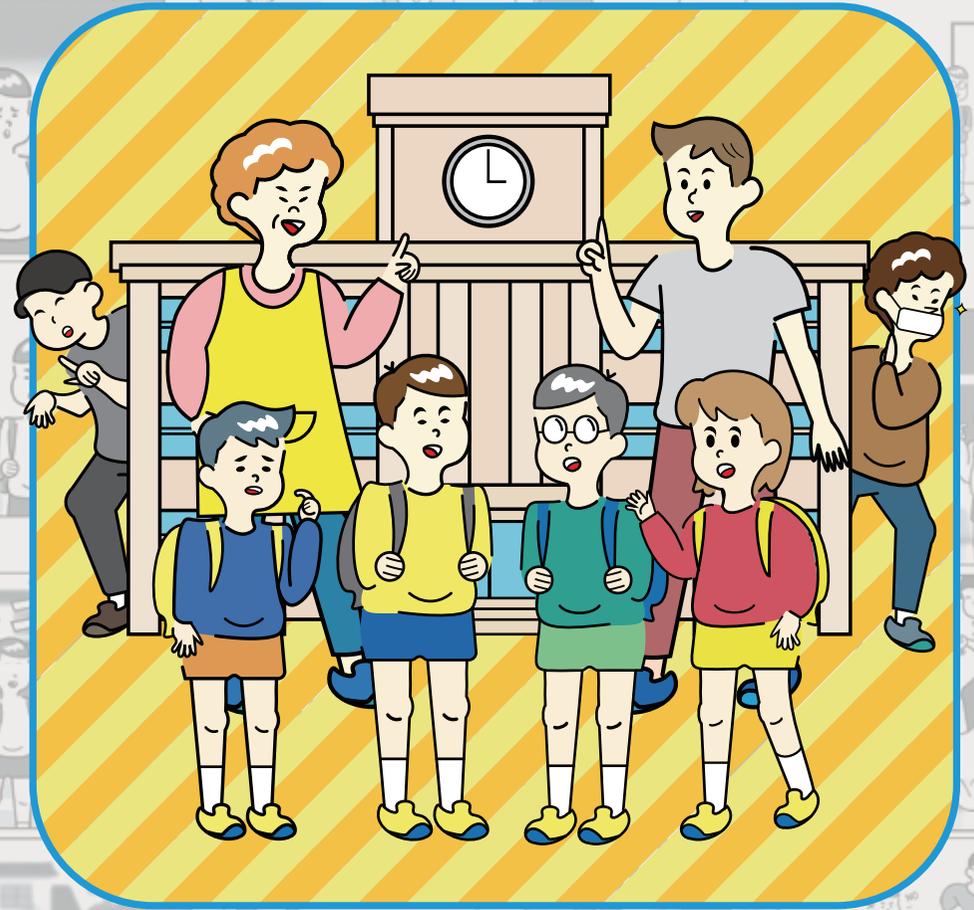


こうがくねんよう
高学年用

マンガで

ぼう はん ぎょう しつ 防犯教室



作成 京都府警察本部生活安全部

協力 京都工芸繊維大学中野デザイン研究室

2023(令和5)年3月

しょうがっこう ぼうはん まき
● みよこ小学校 防犯ウィークの巻 ●



とうしょうじんぶつ
● 登場人物 ●



こうがくねん
高学年



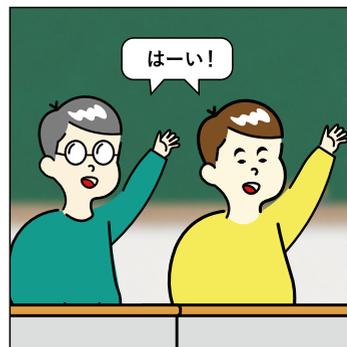
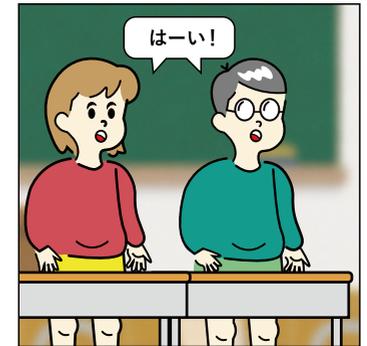
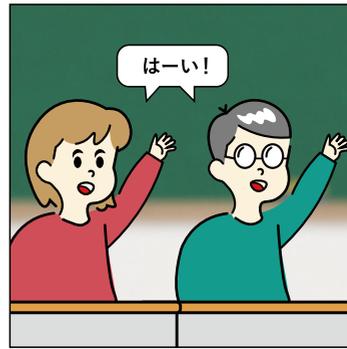
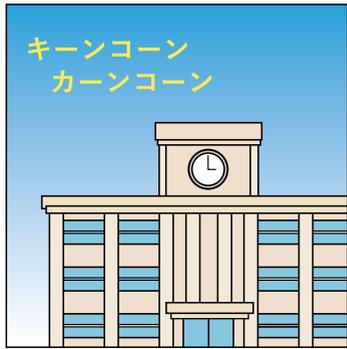
ていがくねん
低学年



まわりのおとな
周りの大人たち

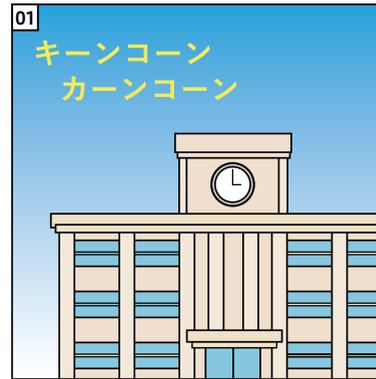


あやしいひと
あやしい人たち



君ならどうする？
マンガの続きを考えてみよう！

01-03 から選んでね！



君ならどうする？

01

道をよく知っているので、
通学路でなく
早く帰れる近道で帰る

02

なるべく友達と一緒に
通学路で帰る

03

寄り道をして帰る

PATTERN

01

こた
答え



02

なるべく友達と一緒に通学路で帰る

決められた通学路を使おう。

できるだけ、友達と一緒に通学路で帰ろう。

名前が書いてあるものは裏返すなどして、「個人情報」がまわりの人から見えないようにしよう。

ひとりのときは、なるべく早歩きをしよう。

普段から「こども110番のいえ」や何かこわい目があったときに、かけ込むことのできるお店などを確認しておこう。

PATTERN

02

事故にあったって!?



01

うちの人が心配なので
車に乗る

02

「うちの人に
聞いてからにします」
と言って断る

03

うちの人に「知らない人の
車に乗ったらいけない
と言われているので、
乗りません」と言って断る

PATTERN

02

こた
答え



02

「おうちの^{ひと}の人に^き聞いてからに^いします」と^{ことわ}って断る

03

おうちの^{ひと}の人に「知らない^し人の^{ひと}車^{くるま}に乗^のったら^いけない」と^{ことわ}われているので、「乗^のりません」と^いって断る

「おうちの^{ひと}の人が^{じこ}事故^いにあったよ」と^いわれたら、^{しんぱい}心配^{だけ}けど^{くるま}車^のに乗^のらないように^しよう。声^{こゑ}をかけて^{くる}くる人が^し知っている^{ひと}人、知らない^{ひと}人^{かんけい}に^く関係^{なく}車^のに乗^のらない^{くだ}さい。もし、声^{こゑ}をかけて^{きた}きた人が^{ほん}本当^{にお}うち^の人の^し知り^あひの^{ひと}人で、あやし^{ひと}い人で^{なく}ても、こ^{ども}ども^だだから^{まちが}間違^{えて}も^{だいじょうぶ}大丈夫^{です}。もしも、こ^わい^ななと^{かん}感じて^{逃げ}るときは、^{ほか}他の^{くるま}車^に気^をつけ^{なが}ら、^{くるま}車^の進^{すす}む^{ほう}方^向と^{はん}反^{たい}対^の方^向に^に逃^げる^{よう}に^しよう。た^だし、^{くるま}車^の進^{すす}む^{ほう}方^向でも、^{すぐ}すぐ^の先^の場^所に^が学^校や^お店^など^逃げる^{こと}ので^{きる}場^所が^あると^きは、^{くるま}車^の進^{すす}む^{ほう}方^向に^に逃^げても^かま^いませ^ん。逃^げるときに^{ちか}近く^に大^お人^がいたら、^{すぐ}すぐ^{その}大^お人^に知^らせて^{くだ}さい。

PATTERN

03

みち
道を聞かれたら



01

こわかったから逃^にげる

02

みち
道を教えるために、
いっしょ
一緒に^つれて^いって^あげる

03

「あ^ちち^です」と、^{こと}こと^ばと^指指^さして^お教^えて^あげる

PATTERN

03

こた
答え



01

こわかったから逃げる

03

「あっちです」と、ことばと指さしで教えてあげる

こわいなと自分が感じたら、逃げた方がいいです。

良い人が悪い人がわからないときは、何かあったときにすぐに逃げ

ることができるよう、少し離れた位置で、「あっちです。」など、

ことばと指さしで教えてあげてください。

大人の人なので、一緒につれていってあげなくても、自分で行ける

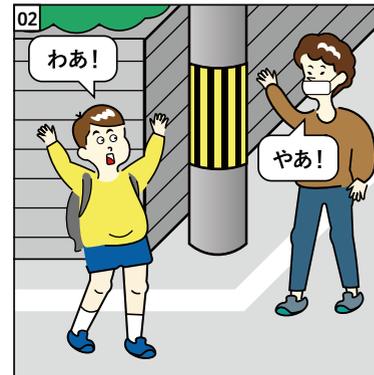
から、大丈夫です。外で大人と話すときは、相手が手を伸ばしても、

君にとどかないくらい、あいだをあげよう。

PATTERN

04

わる ひと き
悪い人に気をつけろ



01

「お菓子はいいません」
と言って逃げる

02

近くの大人に知らせる

03

ついていく

PATTERN

04

こた
答え



01

「お菓子はいいません」と言って逃げる

02

近くの大人に知らせる

今までにあった本当のお話で、
「お菓子をあげるからついておいで」と言って子どもを誘い、
連れ去ってしまう悪い人がいます。
自分が変だな、こわいなと感じたら、すぐ逃げましょう。
そんなときは近くの大人や保護者の人に知らせるようにしよう。

PATTERN

05

おそ
遅くなってしまった



01

友達と一緒に帰る

02

おうちの人に迎えに来てもらう

03

人通りの多い明るい道を
通ってひとりで帰る

PATTERN

05

こた
答え



01

ともだち いっしょ かえ
友達と一緒に帰る

02

ひと わが き
おうちの人に迎えに来てもらう

03

ひととお おお あか みち とお かえ
人通りの多い明るい道を通ってひとりで帰る

なら こと など で 家 に 帰 る の が 遅 くな る と き は、

な る べ く 保 護 者 の 方 に 迎 え に 来 て も ら う よ う に し よ う。

迎 え に 来 て も ら え な い 場 合 は、 友 達 と 一 緒 に 帰 っ た り、

人 通 り の 多 い 明 り い 道 を 通 っ て 帰 る よ う に し よ う。

あ や し い 人 に、 後 ろ を つ い て こ ら れ た り し た 場 合 に は、

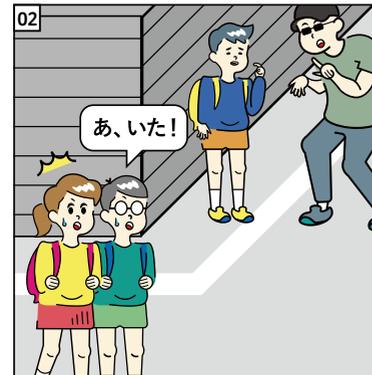
「こども110番のいえ」や、コンビニエンスストアなどの

お 店 に 逃 げ る よ う に し よ う。

PATTERN

06

かきゅうせい こま
下級生が困ってる



01

し
知らないふりをして
とお す
通り過ぎる

02

ちか
近くの大人に知らせる

03

かきゅうせい ともだち
下級生の友達に、
「どうしたの?」
と聞いてみる

PATTERN

06

こた
答え



02

ちか おとな し
近くの大人に知らせる

03

かきゅうせい ともだち き
下級生の友達に、「どうしたの?」と聞いてみる

かきゅうせい ともだち ひと こえ つ い
下級生や友達が、あやしい人に声をかけられ連れて行かれそうになったら、周りの大人に知らせるようにしよう。

ともだち まわ おとな し
友達などがこまっていたら、声をかけて助けてあげよう。

み み
見て見ぬふりをしないようにしよう。

じぶん ともだち たす かん
自分だけで友達を助けてあげることができなと感じたら、

まわ おとな せんせい ほごしゃ し
周りの大人や先生、保護者に知らせよう。

PATTERN

07

きょう いえ
今日は家にひとりきり



01

めんどくさいので、
げんかん
玄関ドアを
あ
開けっぱなしにしておく

02

あやしい人がいないか、
いえ まわ かくにん
家の周囲を確認してから
カギをあける

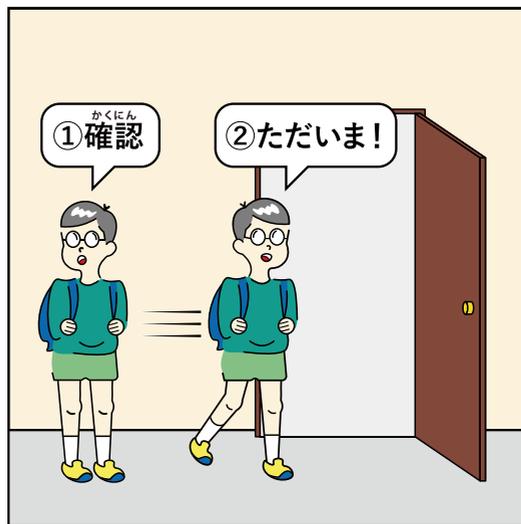
03

すぐに友達の家
い え げんかん
遊びに行くため、玄関ドアを
あ
開けっぱなしにしておく

PATTERN

07

こた
答え



02

あやしい人がいないか、
家の周りを確認してからカギをあける

近くに人がいないかを確認してから、さっと家に入ろう。
誰かが家の周りで待っていて、君が家に入るときに、一緒に中に入ってくるかもしれない。家に入ったら、まずカギをかけよう。
防犯のために、家に誰もいなくても、「ただいま」と言って家の中に人がいることをアピールする方法もあるよ。
普段から、もし、君が誰もいない家に帰ったとき、家の周りにあやしい人がいたときは、近所の家に逃げるなど、
どのように行動するか、保護者と決めておくようにしよう。

PATTERN

08

ともだち
友達のなやみごと



01

しかられるのは
かわいそうだから相談に
のって、ふたりの秘密にする

02

学校の先生に相談するか、
おうちの人に言うように
説得する

03

警察へ一緒に行く

PATTERN

08

こた
答え



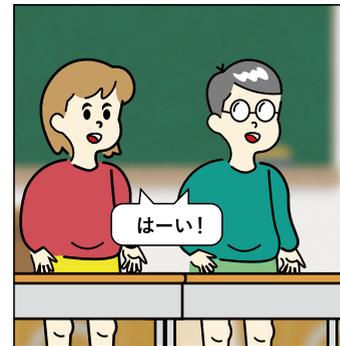
02

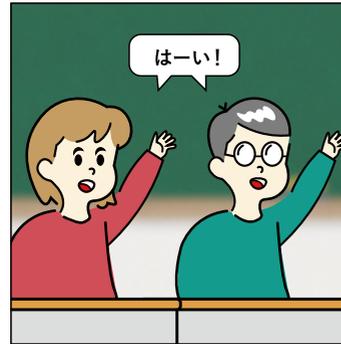
学校の先生に相談するか、
おうちの人に言うように説得する

03

警察へ一緒に行く

危険な目にあったのは自分のせいだと考えてしまう人がいますが、悪いのは犯人です。危険な目にあった人が悪いわけではありません。もし友達が自分を責めていたり、しかられるのをこわがっていたら、「犯人が悪いんだよ」と教えてあげてください。自分たちだけで解決しようとして、さらに悪いようになってしまうこともあるので、なるべく早く身近な大人や警察に相談して解決しましょう。





● 保護者・地域の皆様へ ●

子どもには登下校中や、外で遊んでいるときなど怖いなと思うことや、「一緒に遊ぼう」とか声をかけられ、変だなと感じることがあれば、逃げようと教えます。ですが、次のことも、子どもたちに合わせて教えていただけたら幸いです。

地域の子どもを見守ってくれる方々への感謝

子どもに声をかけたり、じっと見つめる人が、すべて悪意のある悪い人とは限りません。地域には、子どもを見守ってくださる方々がおられます。ボランティア活動をしているとわかるような服を着ておられなくても、通勤、通学、買い物など普段の生活の中で、子どもを見守ってくださる地域の方々や保護者がおられることを子どもたちに伝えます。

子どもたちの安全を守るために私たちができること 「ながら見守り」活動

通勤、通学途中や、散歩や買い物、花の水やりやジョギングなど普段の生活をしながら、子どもたちを見守る活動です。特別な活動ではなく、できる方が、できる時に、できる事を、無理のない範囲で行う活動です。特別なことをしなくても大丈夫です。

例えば、自分から「あいさつする」のも「ながら見守り」です。通勤途中に、子どもの安全に少しだけ目を配ることなど、どんなことでも大丈夫です。子どもたちが通学する時間帯に少し家の外に出て、子どもたちにあいさつしてみませんか。自分にできるちょっとした見守りをしてみましょう。

マンガで 防犯教室

